

様式例 1 1 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市緑化センター	評価対象年度	令和7年度
事業者名	・事業者名 緑化センターグリーンアドバンス ・代表者名 公益財団法人川崎市公園緑地協会 理事長 宮村俊秀 ・住 所 川崎市中原区等々力1	評価者	事業調整・緑化推進担当課長
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室

2. 事業実績

利用実績	○緑の相談の総件数は、265件で、主な相談内容は栽培管理だった。そのうち、オンラインによるものは、20件だった(令和6年度345件。オンライン21件)。 ○講習会は、32講座を開催し、受講者総数は522名だった。講座全体では、1講座当たりの平均受講者数は16.3名だった(令和6年度23講座 413名)。 ①計画的に行う講習会としては、14講座、受講者数162名だった。 ②提案による講習会としては、18講座、受講者数360名だった。 ○展示会は、年間14回、延べ日数330日間開催した(令和6年度9回、延べ220日間)。 ○来園者数は、年間181,961名で、1日当たりの平均来園者数は約600名だった。(令和6年度 209,289名 平均 680名) ○SNSの活用は、インスタグラムのフォロワーは令和8年3月31日時点で1,537名となり、昨年度末より265名増加した。また、ホームページの年間閲覧数は、145,776PVで、一日当たりの閲覧数は399PVだった。
収支実績	令和7年度 ○収入 47,731,929円 (指定管理料収入 45,505,000円、その他収入 146,800円、自主事業収入 2,080,129円) ○支出 46,262,844円 (維持管理運営経費支出45,287,902、自主事業経費支出 974,942円) 【収支差額】 1,469,085円 ○利益還元事業として、自主事業で得た利益の一部について、雨天の際、市民が安心して休憩できるよう休憩所の雨漏り修繕の費用に還元した。
サービス向上の取組	○商店街街灯に緑化センターまでの案内板を適所に掲示し、来園者の利便性を向上した。 ○休憩所(空き温室)に、子ども向けの本の配架に加え電子ピアノの設置により、子ども連れでも楽しめる演出を実施した。 ○自主事業として、花苗等の販売をする際に育て方のアドバイスや相談対応を併せて実施した。 ○自主事業で得た収益の一部は、休憩室(空き温室)の雨漏り修繕費用にあて、雨でも緑化センターを子ども連れで楽しんでもらえる空間づくりに活用した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4	4.8	
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか				
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3	3.6	
		当初の事業目的を達成することができたか				
	(評価の理由)					
	【利用者満足度】 ○サービスの質向上に向けて、多くの来場者の意見収集するため、アンケート回収BOXの複数箇所への設置のほか、イベント等でも意見を求めるなど工夫を行った。 ○緑化センター全体に対する満足度について、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」の4段階で一般利用者等に満足度調査を行い、130名分のアンケート結果が得られた。結果、99%の方が「満足」「やや満足」と回答した。令和6年度(98%)と同等以上の評価を得た、利用者からは「きれいに保たれている」などお褒めの言葉を多数いただいている。 ○講習会について、利用者満足度をアンケートにて、「大変良い」、「良い」、「普通」、「あまりよくない」の4段階で調査したところ、303人が回答し、総合的な評価が「大変良い」、「良い」が約97%で好評価であった。自由意見でも「楽しかった。勉強になった。」などの意見があった。 ○桜まつりは、「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で一般利用者等に満足度調査を行い、201名分のアンケート結果が得られた。結果、86%の方が「満足」「やや満足」と回答。緑化センターに対する意見として「綺麗、癒される、手入れがいい」などのお褒めの言葉をいただいた。 ○緑化センターまつりは、荒天のため中止としたが、例年多数の参加のあるイベントであるため、次年度も開催した際にはアンケート調査を実施する予定					
	【事業成果】 ○各事業の実績及び利用者アンケート等を活用し、事業成果の把握・分析を適切に行っている。 ○都市緑化の普及啓発及び市民協働の推進に向けた各種事業を実施し、概ね当初の事業目的を達成している。					
	分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
	収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
			支出に見合う効果は得られているか			
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか						
収入の確保		計画通りの収入が得られているか	4	3	2.4	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
適切な金銭管理・会計手続		収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由)						
【効率的・効果的な支出】 ○事業計画に基づく適正な支出が行われている。 ○物件の購入については、集中購買を利用したほか、他施設からの中古備品の譲渡を受けるなどし、物品購入を削減した。 ○業務委託については、市内3者程度の見積書を取得し、競争原理を働かせて委託費を削減した。 ○修繕費については、日常的な予防保全に努めたほか、緑化フェアで使用した廃パレットを活用して展示台のリニューアルを直営で行い、修繕費の削減に大きく貢献した。						
【収入の確保】 ○自主事業収入等を確保し、安定した施設運営に必要な収入の確保に努めている。 ○花苗等の販売や自主事業の実施など、収入増加に向けた取組を継続的に実施している。						
【適切な金銭管理・会計手続】 ○金銭管理、帳簿管理について、本部の財務部門の監査を定期的に受けるなど、適正な会計処理に努めている。						

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4	4.8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	提案事業・自主事業の実施状況	施設利用者へのサービス向上につながる提案事業・自主事業を実施しているか	10	4	8.0
		施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか			
(評価の理由)					
【適切なサービスの提供】 ○講習会について、提案による講習会では前年度よりも子供向け講習会を多く開催し、緑の普及に取り組んだ。また、計画的に行う講習会では、仕様書より2講座多い14講座開催し、子ども向けに「ハンカチ染め」や「プリザーブドフラワーアレンジメント」の講習会を適宜開催し、みどりの普及に取り組んだ。その他、提案による講習会では、仕様書より10講座多い18講座開催し、緑化センターの認知度を高めるため、出張講習会を多摩区内1回、多摩区外で4回、計5回行った。特にこれまでにない取り組みとして、子ども向けワークショップをこども文化センターで開催した。令和7年度は、多摩区外にターゲットを絞ったため、開催回数は減少したが、効率・効果的な出張講習会を開催できたと考える。 ○展示会は、品種保存しているサクラソウやハナショウブの展示を始めとしてバックヤードにあった盆栽を整理して状態が良好なものを展示するなどし、年間14回、延べ日数330日間開催し、仕様書の年間7回、延べ日数180日間以上を大きく上回るなど、適切に開催した。 ○サービスの利用促進として、公園情報アプリ「PARKFUL」へ緑化センターの情報を登録し、令和7年6月24日より公開した。これにより、市内外の来園者がスマートフォンから容易に情報を取得できるようになり、認知度向上と来園促進に寄与したと考えている。 ○情報提供にあたっては、市民へ最新の園内情報を的確に届けるため、公式ホームページの更新を継続的に実施した。「センター日記」「講習会情報」「開花情報」「イベント情報」など、多様な内容を日々発信し、来園前の情報収集に役立つ情報提供を行った。その結果、公式ホームページの年間の更新回数は前年度を上回る529回となり、桜の開花期やイベント開催時には閲覧数が大きく伸びるなど、市民の関心の高さが確認できた。					
【業務改善によるサービス向上】 ○来園者が多摩区住民に偏る傾向に対し、出張講習会や外部イベントへの出展、SNS等による情報発信を強化した結果、多摩区外からの来園割合が増加しており、利用実態の分析とその結果を踏まえた改善に取り組んでいる。 ○緑の相談件数の減少について、インターネット普及や利用者層の特性を要因として分析し、Web相談や相談事例Q&Aの整備を進めるなど、状況把握と改善に向けた取組を実施している。					
【利用者の意見・要望への対応】 ○桜まつりや講習会で実施したアンケート結果を分析し、子ども向け講習会の拡充や多摩区外を対象とした事業展開に反映するなど、利用者ニーズを事業運営に活用している。 ○園内常設アンケートのほか、桜まつりでは201件、講習会では延べ303件の回答を収集するなど、多様な機会を通じて利用者の意見・要望の把握に努めており、事業改善に活用できる情報収集が行われている。 ○利用者から寄せられた意見・要望に対し、案内表示の改善や掲示内容の充実など、可能なものについては速やかに改善を図っており、利用者満足度の向上に努めている。					
【提案事業・自主事業の実施状況】 ○空き温室を活用した読書スペースの整備、花摘み体験や季節イベントの開催など、多様な利用者が楽しめる提案事業・自主事業を実施し、施設の魅力及び利用者サービスの向上に取り組んでいる。 ○来園者アンケートや利用状況を踏まえ、子ども向け講習会の拡充や親子で利用しやすい環境整備を進めるなど、利用者ニーズを事業内容に反映した提案事業・自主事業を実施している。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	3	3	1.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	3	1.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	2	3	1.2
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	4	1.6
(評価の理由) 【適正な人員配置】 ○本部に緑化センターの地域連携等のプロデュースを専門とする専任を配置し、関連するステークホルダーと緑化センターをマッチングし、魅力アップと付加価値を創造する担当者を配置している。 【連絡・連携体制】 ○施設の課題、施設に対する要望など、所管課との連絡打ち合わせを適宜行っており、連携は十分に図られている。 ○ボランティアの方と連携し一緒に施設の維持管理に努めている。 【再委託管理】 ○地域活性化につながるよう、高木剪定、緑地管理、雑工事、漏水修理などは市内近隣の業者を選定し、委託を行った。また、業者選定の際は3社程度の見積書を取得し、委託費の縮減に努めた。 【担当者のスキルアップ】 ○指定管理者本部と連携した社員研修を積極的に行い、職員の技術向上、安全意識の向上、接遇マナーの向上を図っている。 【安全・安心への取組】 ○事故や災害の履歴や隣接する道路、近隣家屋への影響も含め、危険個所を記載した「ハザードマップ」をセルフモニタリングの機会等、適宜修正し、巡視や定期点検、修繕計画等に活用した。 ○職員・スタッフによる防災訓練も適切に実施されている。 【コンプライアンス】 ○本部の専門職社員を講師とし、個人情報管理、情報管理、労働安全衛生について研修会を実施している。また、本部担当社員による内部監査(セルフモニタリング)を実施し、法令遵守の徹底について、定期的に確認を行った。 【職員の労働条件・労働環境】 ○職員研修や安全管理、人材育成を継続的に実施するとともに、病休者及び自己都合退職者が発生しておらず、安定した管理運営を支える労働環境の確保に努めている。 【環境負荷の軽減】 ○中古備品の再利用や廃パレットを活用した展示台整備等により、資源の有効活用と廃棄物削減に取り組んでいる。					

分類	外構・植栽管理	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	樹木、草花及び種苗の管理	樹木、草花及び種苗を適正に管理しているか また、収集、保存、展示に努めているか	5	4	4
	施設更新計画	長期保全更新計画を立て、市へ報告しているか。	2	3	1.2
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	3	3	1.8
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	3	3	1.8
	外構・植栽管理	外構・植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	2	3	1.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2
(評価の理由) 【施設・設備の保守管理】 ○老朽化が進む施設に対し、定期的な施設点検を行うとともに、本部検査員による施設や管理状況に対するセルフモニタリングを実施し、その結果に基づいた修繕や更新を実施し、利用者からも「きれいに保たれている」等の評価を得ている。 【樹木、草花及び種苗の管理】 ○樹木の健全育成や病害虫対策、花壇管理等を適切に実施するとともに、サクラソウ及びハナショウブの品種保存や特色ある植物展示、植物情報の発信に取り組むなど、都市緑化植物園として求められる植物の管理、収集及び展示が行われており、利用者からも「手入れが行き届いている」等の評価を得ている。 【施設更新計画】 ○定期的な施設点検を行うとともに、指定管理本部職員による施設や管理に対するセルフモニタリングを実施し、長期保全更新計画書を所管課に提出した。 【清掃業務】 ○週1回の専門業者による清掃に加え、毎朝の清掃・備品補充及び1日2回以上の巡回を実施するとともに、清掃管理表を活用した管理を行うなど、施設内及び外構の清潔な美観と快適な利用環境の維持に努めている。 【警備業務】 ○朝夕の定期巡回、園内ハザードマップを活用した安全管理及び危険箇所の点検を継続的に実施しており、令和7年度に事故は発生しておらず、安全な利用環境の確保に努めている。 【外構・植栽管理】 ○樹木の特性に配慮した剪定や花壇管理、見本園の維持管理を行うとともに、腐朽菌や木くい虫による被害の点検、ナラ枯れ対策、芝生広場の安全管理などを実施し、植物園として良好な景観と安全な利用環境の維持に努めている。 【備品管理】 ○毎日の施設点検やトイレ清掃・備品補充を実施するとともに、施設の不具合については年間55件の直営修繕を行うなど、設備・備品の管理及び利用環境の維持が適切に行われている。					

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	例) 第三者へ一部の業務委託を行う際、市内中小企業者の受注機会の確保・拡大 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力 市制100周年に向けた取組 障害者の法定雇用率を越える雇用 など			2
(評価の理由) ○4月当初における全国都市緑化かわさきフェアへの出展や出張緑化相談を実施したほか、継続して多様なイベントに協力し、市の重要施策である都市緑化の推進に貢献した。 ○地域包括支援センターとの連携や認知症患者の方との花植え等、高齢者、障害者に配慮した取組を自主的に企画・実施しており、市の重要施策である地域包括ケアシステムの構築に貢献している。					

5. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準（評価点合計）
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。(80点以上)
B	総合評価の結果、優れていると認められる。(70点以上 80点未満)
C	総合評価の結果、適正であると認められる。(60点以上 70点未満) ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。(50点以上 60点未満)
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。(50点未満)

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

○全国都市緑化かわさきフェアへの出展や出張緑化相談を実施するとともに、生田緑地ばら苑や各種外部イベントへの参加を通じて、都市緑化の普及啓発と施設認知度の向上に積極的に取り組んだ。

○市内唯一の都市緑化植物園として、サクラソウやハナショウブの品種保存、ヒスイカズラ等の特色ある植物展示、見本園の適切な維持管理を行うなど、植物園機能の充実と都市緑化の推進に努めている。

○ボランティアと協働した花壇づくりやグリーンサポーター活動の支援に加え、公共施設へのゴーヤ(1,089株)やハボタン(1,350株)の苗配布を行うなど、市民協働による緑化活動と市全体の緑化推進に貢献している。

○ホームページやSNSの積極的な活用、公園情報アプリへの登録、報道機関への情報提供等により情報発信を強化し、認知度向上や利用者層の拡大につなげている。

○講習会や展示会について仕様を上回る水準で実施するとともに、子ども向け講習会や出張講習会を拡充するなど、利用者ニーズや認知度向上を意識した事業展開を行っている。

○緑の相談フォームや相談事例Q&Aの整備、出張相談の実施など、相談機能の充実や利便性向上に取り組むとともに、利用者アンケート等の結果を事業運営の改善に活用している。

○福祉施設向けにレイズドベッドを活用した講座やプランター花壇の設置、筆談ボードや拡大鏡の配置、おむつ替え台の設置など、高齢者や障害者、子育て世代に配慮した施設運営を行っている。

○老朽化施設に対する日常点検や年間55件の直営修繕、ハザードマップの作成、防災訓練や安全管理を実施し、安全で快適な利用環境の確保に努めている。

○空き温室を活用した休憩機能の充実、季節イベントや花摘み体験等の自主事業を積極的に実施するとともに、自主事業収益を施設修繕へ還元するなど、施設の魅力向上と利用者サービスの向上を図っている。

○公益財団法人川崎市公園緑地協会と民間事業者による共同事業体として、それぞれの専門性やネットワークを活かした運営に取り組んでいる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

○利用者アンケートや実績を踏まえながら、利用者ニーズに対応した講習会や展示会を企画し、市民サービスのさらなる向上が望まれる。

○市内全域への認知度向上に向け、出張講習会や外部イベント、SNS等を活用した情報発信が望まれる。

○子ども向け講習会や体験型イベントの充実を図るとともに、若い世代に効果的な広報手法のさらなる活用を期待する。

○緑の相談件数については、対面相談の強みを活かしつつ、Web相談や相談事例Q&Aの充実など、相談機能の利用促進に期待する。

○市内唯一の都市緑化植物園として、サクラソウやハナショウブ等の品種保存を継続するとともに、特色ある植物の収集・展示や植物園機能のさらなる充実を期待する。

○障がい者、高齢者及び子育て世代等、誰もが利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインや合理的配慮が求められる。

○引き続き、一般来園者を含めた幅広い利用者から意見・要望を収集し、その結果を事業や施設管理に反映することで、利用者満足度の向上に努められたい。

○老朽化が進む施設については、計画的な点検・修繕を実施するとともに、安全で快適な利用環境の維持に努められたい。

○カナルなど活用が課題となっている施設については、市と連携しながら有効活用策を検討し、施設の魅力向上につながる利活用を期待する。

○緑に関心の薄い層を含め、より多くの市民が緑に触れる機会を創出できるよう、ライフスタイル提案や体験型プログラムなど都市緑化の裾野を広げる取組を期待する。